

科目名	教職実践演習（中・高）					単位	2.0
担当教員	眞有 澄香						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	4	授業番号	7229

●授業のテーマ

教員になるための総仕上げ

●到達目標

教職という仕事について、具体的に、現実的に理解することができる。

学校という場において、どのような役割や仕事が求められるのか、自ら考え行動することができる。教職への適性や能力について、客観的に自らを評価することができる。

●学習内容(授業概要)

本演習は、免許法改正によって新たに設置された科目である。社会人としての基本はもちろん、教員の使命や子どもへの責任や理解、指導力など、教員として必要な知識技能を修得しているかどうか、確認することがねらいである。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. イントロダクション
2. これまでの学修や教育実習の振り返りについてのグループ討議
3. 教職の意義や教員の役割、職務内容についてグループ討論
4. 子どもに対する責任等についてのグループ討論、ロールプレイング
5. 社会性や対人関係能力についての講義・グループ討論
6. 生徒の理解や学級経営についての講義・グループ討論
7. 学級経営案の作成
8. 学級経営についてのグループ討論
9. 学校現場の見学・調査
10. 生徒理解・学級経営についてのグループ討論
11. 教科内容等の指導力についての講義
12. 模擬授業（各教科）
13. 模擬授業（総合的な学習の時間）
14. 教科内容等の指導力についてのグループ討論
15. 資質・能力の確認、まとめ

●準備学習・事後学習の内容

初回の授業時に指示する。

●成績評価方法・基準

教育実習の評価（50%）、及び、本授業時における課題や活動（50%）などから、教員としての資質・能力を見極め、総合的に判断する。

●テキスト（必携）  
授業時に指示する。

●参考文献／その他  
授業時に適宜指示する。

●履修上の注意  
教育実習や採用試験も終了している時期なので、教職への意欲が問われることになる。したがって、履修に当たっては、教育実習の反省を踏まえ、教職への強い意欲やそれに相応しい能力があるものに限る。